

第二講 オリエントの多様性

【前回レポートの講評】：オリエントをオクシデントの反対語で、ヨーロッパから見て東、「陽の昇る地」という意味を持ち、今日のイラクやイランなどの中近東を指している、というステレオタイプなレポートが多かった。

レポート課題：オリエントの自然環境の特徴を述べなさい。

一般的なイメージ（画一的なイメージ）

極度の乾燥

高温

砂漠

大河と灌漑

羊や駱駝の飼育

麦や棗椰子の栽培

現実には極めて多様

レバノンや小アジア西岸：地中海性気候

アナトリア高原やイラク北部：冬期寒冷

イラク南部：極度の乾燥・不規則な洪水

ナイル川流域：規則的なナイルの洪水



中近東諸国の国勢（面積・人口）

国名	面積 (千km ²)	人口 (万人)	人口密度 (人/km ²)	年平均降水量 (mm/年)
サウジアラビア	2,150	2,270	11	135.8
イラン	1,633	6,770	41	219.3
エジプト	1,001	7,264	73	16.6
トルコ	779	7,130	91	407.8
アフガニスタン	652	2,993	46	214.1
イエメン	528	2,033	39	11.2
イラク	438	2,710	62	68.6
オマーン	310	234	8	94.3
シリア	185	1,860	100	350.0
ヨルダン	98	532	54	191.2
アラブ首長国	84	432	52	54.9
イスラエル	22	687	313	616.9
クウェイト	18	275	154	69.8
カタール	11	74	65	44.9
レバノン	10	460	440	487.6
バーレーン	0.7	71	997	3.8
日本	378	12,776	338	1548.0

(出典：JETRO/ワイス「THE WORLD 2006(世界各国経済情報ファイル)」他)